ゲームマシン
THE GAME MACHINE

発行所
ゲームマシン社
大阪市北区木幡町45アドビル内
〒530 電話 06 (313)0451 内41
定価1部 200円
年間購読料（送料共） 7,200円
本紙ご購読ご希望の方は、上記あて現金書留にてご送金下さい。

華々しく業界の秋祭り行なわれる

'74ゲームマシンフェスティバル開催

74ゲームマシンフェスティバルは、盛会のうちに二日間にわたる幕を閉じた。参加十九社による出展、ステージの催しものなど、豊富な出しものに、来場者の数も二千人を越すという盛会ぶり。

無事フェスティバルを終えた実行委員会は、来年は一段と大きく、華やかなフェスティバルへと飛躍発展していきたい、とのことであり、今後の展開が各方面から望まれている。

参加十九社でオープン

十月二十、二十一日の両日にわたって、大阪国際貿易センターにおいて「74ゲームマシンフェスティバル」が華々しく開催された。

出展参加者は合同出展ぶんを含め十九社で、各社も相当な意気込みでこのフェスティバルを盛りあげた。この十九社の内わけは次のとおりである。（五十音順）アスター商事㈱、大阪パシフィックベンディング㈱、㈱関西レジャーサービス、㈱関西企業、㈱カワクス、㈱カーマンモデル、サービスゲームス、㈲三協商事、㈱ジャトレ、ジャパン・オーバーシーズ・ビジネス㈱、ダックス貿易㈱、㈱ツムラ、日本ジュークボックス商事㈱、任天堂㈱、㈱ビクトリー、フジエンタープライズ㈱、マックス、㈲リバーストン商会、レジャー・エンタープライゼズ㈱。

オープニングは二十日の午前十時、すでに来場者が続々とつめかける内に行なわれた。参加十九社の見守るなかで、橋本敬親＝実行委員長、駒井徳造＝任天堂㈱の二氏により、テープに鋏が入れられ、拍手と同時に入場。

二千人を越す来場者

会場は、各コーナーからのライトの熱と人いきれで、温度が上がる一方であり、ところせましと持ち込まれた、数多くのマシンに、これまたどっと人だかり。参加社の担当者も応対に汗だくという有様が、すでに昼ごろからはじまる。

（写真上）
拍手の中でテープカットを行なう橋本㊨、駒井㊧の両氏

10月20、21日の74ゲームマシンフェスティバルには多数ご来場があり、盛会のうちに無事終了することができ、まことにありがとうございました。
はじめての試みで、なにかと不行届きの点がありましたが、出展参加された会社をはじめ、みなさまがたのご協力で滞りなく進行させていただきました。
みなさまがたから多くのご批評、ご助言をたまわり、まことにありがとうございました。厚く御礼申上げます。今後とも一層のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

'74ゲームマシンフェスティバル実行委員会

実行委員長　橋　本　敬　親

大阪市北区木幡町45 アドビル401 日本出版企画制作㈱内 ☎06(314)1458～9

'74ゲームマシンフェスティバル

写真特集

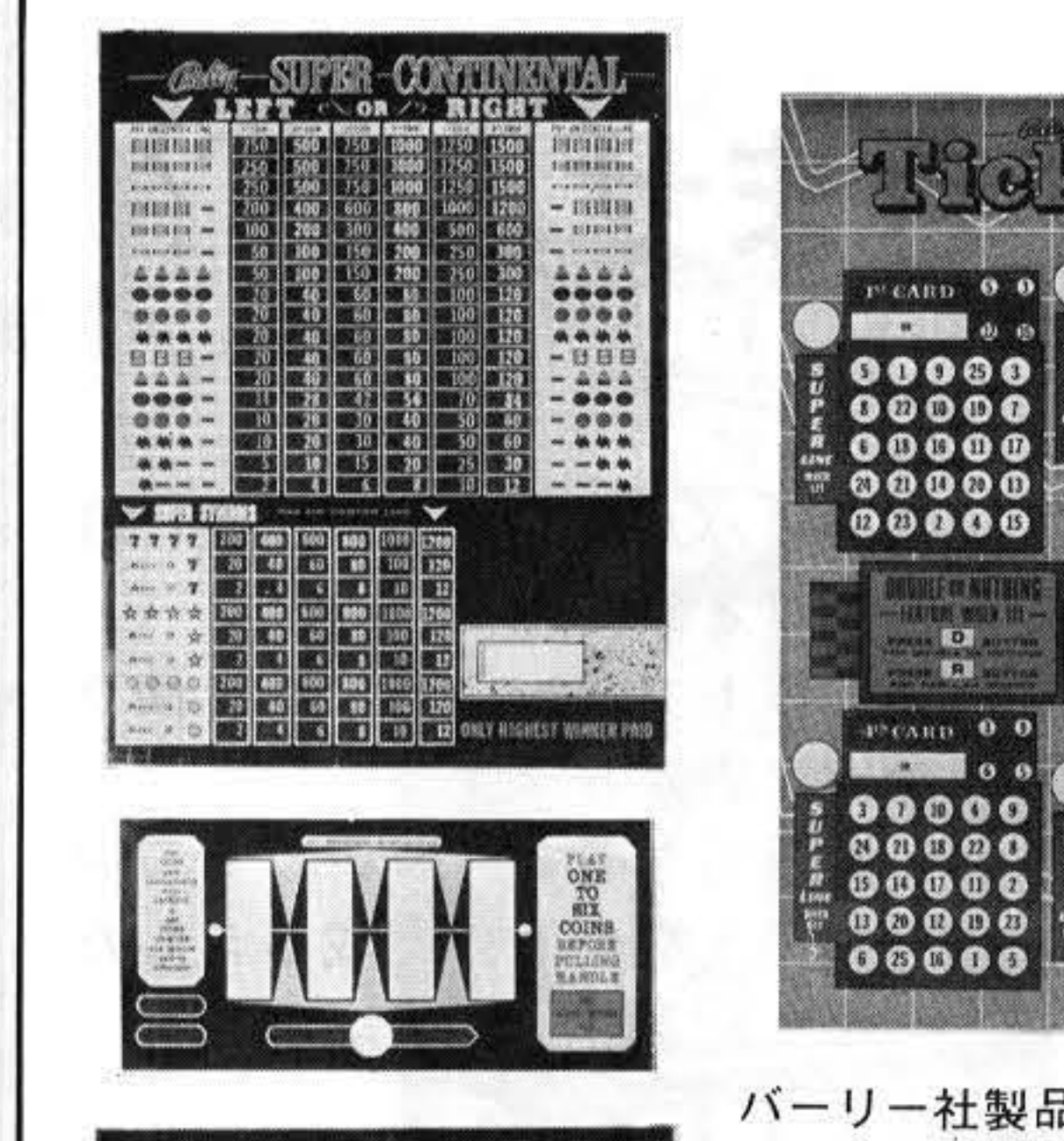
出展各社のコーナー紹介

★順序は不同です

5めんまで！

アスター商事㈱

ゲームコーナーの必需品です、とコーヒーの自動販売機「アミー150」・ポップコーンの自動販売機を出展したこのコーナーは、会場入口にもっとも近いコーナー。

㈱カーマンモデル

サーカスタイムが2台、ユニークなビデオゲーム機のピングシューターなど、多種にわたる国産ゲームマシンを出展。スロットもちょっとユニークなもの。

サービスゲームス

デッカイ「ジャンボスロット」2台を出展。下に車がついていて移動も楽にできるというもの。国産ゲームマシンでも、これはユニークな商品と言える。

㈲リバーストン商会

スタンプの代りにおみくじ券が出てくるスタンプベンダーを4台出展。札幌営業所拡充を行なうなど、北海道分野へも進出している国産ゲームマシンのディーラー。

㈱カワクス

タイム80、ベースボールのほか、新機種のブラックパンサー、ゴールドパンサーなど出展。とくにニューウィンターブックは、ルーレットタイプでは決定版といえるマシン。

ジャパン・オーバーシーズ・ビジネス㈱

現物のマシンの出展なく残念。しかし、実績を誇る同社のこと、メダルマシン（輸入もの）を豊富にそろえていることは、周知のことである。

㈲三協商事

ミニカスカードは3段構えのユニークなペニーフォールといえる。スロットのチャイルドスター、電光式のダービー21など出展。すべて国産ゲームマシン。

'74ゲームマシンフェスティバル

会場を埋めるお祭りムード

バニーガールのドリンクサービスも品切れに

ステージからみた会場風景（20日午前11時）

盛上るステージの演奏

出展された多種多様なゲームマシンは、そのまま来場者によって、実際にプレイできるよう設置された。それでなくても人気のあるゲームマシンのこと、全国から来たゲーム場経営者によってどんどん売れていき、売約済のフダもかなり貼られていた。

いちばん奥のステージには、まずスクールメイツの歌と踊りでスタート。細川ひろみの歌と、ケン小森のマジック、それに抽選会とつづく、高見延彦のバンド演奏で強力なリズムが場内にひびきわたり〝秋祭り〟は絶頂。

ステージのほうは、両日とも午後一時からと四時からと、二回にわたって上演したが、そのさいステージ付近は身動きできないほど混雑した。なお抽選会は、バニーガールによってルーレットが回され、出てきた数字で決めるという趣向。まず会場に入る際に、袋その他と同時に抽選券が手渡されている。番号は四けたで、上二けた、下二けたには〇から三十六までの数字がふられているわけ。これでけっこう景品を当てた人が出て、〝おめでとう〟との声も聞かれた。

ステージ横に設けられたドリンクコーナーも、かわいいバニーガールの手によるサービス。大量に用意してあった飲みものは、どんどん消化され、二日目の昼ごろには、すっかりなくなってしまうほどであった。

断然多い出展品の売上

出展された機種は多種多様にわたったが、やはり最も多いのは国産ゲームマシン。来場者も、いちばん多かったのは、ゲーム場経営に携わっている人びとであったようである。

これは、現在爆発的なブームとさえ言われている〝ゲームマシンブーム〟を反映するものであり、このフェスティバルには新商品もかなり登場、来場者が感心する場面も見受けられた。

まず国産ゲームマシンを主力に置いたのは、㈱ビクトリー、㈱ツムラ、フジエンタープライズ㈱、大阪パシフィックベンディング㈱など、ほとんどの参加社であり、輸入ものでは㈱ジャトレ、部品を主力においたマックスなどが、大きな特徴。レーザーガンあり、ゲームテーブルありの任天堂㈱など、詳しい内容は3めんで紹介するが、実のところ今回の会場は狭すぎるのではないか、と思われるほど、豊富な機種が並べられ、来場者がプレイしつくすには、とても一日では足りないぐらいであった。

抽選発表（上）・ドリンクサービス（下）

実行委、来年に抱負

実行委員会は、このフェスティバルを無事終えたが、来年はより大きい、より華かなものへと飛躍発展させていきたい、とのことであり、今後の展開が各方面から注目されている。

お知らせ

本号は特集号につき第七・八合併号の取扱いになります。

本場ギャンブル 230億円 米国カジノ協会

ネバダ砂ばくにこつ然と現われるネオンのかたまり——そこがラスベガスである。米国指折のギャンブル公認州、ネバダの中の、これこそはアメリカそのものと言える、ギンギラの華やかさである。ベガスでは大ぴっらにギャンブルができるが、さてネバダ州ゲームコントロール協会（カジノ協会）の、一九七三年度総収入はなんと八億七千六百万ドル（約二百三十億円）になったと言う。この協会は、同地の二千四百十八台のゲームテーブルと、四万五千七百七十五台のスロットマシンを統制している、とも伝えられている。

出展各社のコーナー紹介（順不同）

㈱ビクトリー

国産ゲームマシンを扱うことで有名な同社は、バニーガール、プレイボーイ、ハスラー、ゴッドファーザーなど小型はもちろん、新機種のダービーグランプリを発表出展した。

㈱ツムラ；フジエンタープライゼス㈱

2社合同出展という趣向。テレビ女優として有名な田島令子（右上の写真左手前）ら美女が受付け、説明に加わってイメージアップを図る。大型の国産ゲームマシンがスペースのほとんどを占めたが、とくに新機種のグランドナショナルには人気が集まった。電光式ルーレット方式のビッグ6、大きなV6、ダービートリプルなど豊富な機種が揃えられた。

ダックス貿易㈱

ペニーダイス、エキサイティングレース、ボーナスマルチが前面に、そしてクーガー、ウォールストリート、ラッキーコンチ、スーパービンゴなど計15台という出展機種であった。

レジャーエンタープライゼス㈱

IC回路で完全であるばかりではなく、小型でどこにでも置ける卓上式電光スロットマシン「マニックス」を6台出展。ホールドも可能なので、プレイする人も続出した。

マックス

馬が走るクォーターホース、スーパースター、プラスチックのスーパーコンチネンタル。これに加えてコイン計算機と、スロットに関するあらゆるパーツを揃え、相談に応じる。

出展各社のコーナー紹介（順不同）

㈱関西企業

米国のユニークなスロット、ラッキーノバ、スーパーウィングス。国産のロータリーパルス。新機種のスピードタッチャーを出展。なお記念セールとして宝石展も併設。

大阪パシフィックベンディング㈱

新機種ワンダーボーイをはじめ、アンクル、プラザセブン、ショータイム、デラックス300、ホップアンドステップなど国産ゲームマシン。スロットマシンも加えて出展。

㈱ジャトレ

美人ディラーが実演して、ルーレットテーブル、ウィールオブフォーチュン。ブラックジャックを高度機械化したコンピューター21を出展。輸入マシンを同社は扱っている。

日本ジュークボックス商事㈱

正面にジュークのロックオーラ451、そのとなりの台にナッツベンダー、だがなんといっても国産マシン、ザ・ハンター、メカニックが目玉である。

'74 ゲームマシン フェスティバル

㈱関西レジャーサービス

かわゆい係員がスイッチを押すウィンザーダービー。馬の走るトラックは垂直な盤面になっている。エース自動機㈱によるゲームマシン部品取扱いも併設。

任天堂㈱

新趣向のレーザーガン シュミレーション・システム」と、ルーレット、ブラックジャック、ダイスゲームなどのテーブルの2本立。前者は音と映像を組合せ、大変な人気。

ゲーム
コーナー
拝見

スロットマシンにはそれぞれ癖がある、などと〈発見〉する新しがりやの私

八木孝昌

私はゲームには目がない。おまけに新らしがり屋なので、何か面白そうなゲームコーナーができると、まずはちょっとのぞいてみる。のぞいた結果、たいていは病みつきになる。

故障か、止った絵柄

スロットマシンで、一度にメダルが6枚まで入る。(ということはメダルの出かたも6倍になるのだが)新型が登場したときも、例によってイレこんでしまった。その新型スロットマシンは、レバーを引くと四つの回転板が一斉に回り出し、ボタン操作によって、それぞれが停止して絵柄の組合せができる仕掛けになっている。ある日私は、たまたま自分の選んだマシンで面白いことを発見した。レバーを慎重にゆっくり引っぱると、一番左の回転板が停止したまま動かないのである。二回三回試したが、一瞬動きたそうな気配を示して、やっぱり思い直したように、もとにもどる。

最初は、何かの故障だろうと軽く考えていたが、ふとある考えがひらめいた。経験のある人なら知っているだろうが、左側の回転板に、ある特定の図柄(かりにこれをマークAと呼ぼう)が出ると、他の三つがどんな組合せになっていても、投入したメダルの倍の数が返ってくる。もし、ちょうどうまい具合にマークAが出たときにそれを固定すれば、メダルは少しづつしかも確実に増えてゆくことになるのだ。

その上面白いことには、マークAが固定されていると、そのとなりに続けてマークAが出ることが、三回か四回に一回は起るのである。このマークAの二つ並びの場合は、五倍のメダルが返ってくるのだから止められない。

興味のあることはさらに続いた。そのスロットマシンの最高の組合せは、ある絵柄(これをマークXと呼ぼう)が四つ並んだ場合でこれが二五〇倍の返し、三つ並ぶと二〇〇倍ということになっているのだが、もちろん、マークAが固定されているので、マークX四つということはありえない。ただ、三つ並ぶ可能性はある。興味があるというのは、たびたびマークXが二つまで出るのである。

私は、レバーを引くたびにメダルを増やしながら、マークX三つ並びを狙っていた。だが、具合の悪いことに、ときどき、係の人が巡回に来るのである。私は、あわててレバーを素早く引き、固定してある回転板を動かさねばならない。いったん動かしてしまうと、左側にもう一度マークAを出すには、想像以上の回数を要するのである。

そうこうしているうちに、またマークAが固定でき、そしてとうとうマークX三つ並びを実現した。マシンに取付けてあるベルが鳴り、次から次へとメダルが飛び出してくる。何しろ、一二〇〇個である。内蔵メダルは出つくし、それでもベルは止まらない。パチンコでいえば、バネ切りというところだろう。

調節の可能性を疑う

私はこの経験から思うのだが、あのスロットマシンの組合せは、純粋の確率でないのではなかろうか。つまり、何かの具合で、たとえばパチンコにおける釘の調整のようなものがあって、メダルがたくさん返る組合せが出にくいようになっているのではないだろうか。だから逆に、一度調子が狂うと、およそ出来そうにもない組合せが、わりに簡単にできたりするのではないか、と私は勝手に考えている。

数日後、友人がこの話を聞きつけて、同じマシンに挑戦に行ったが、回転板の固定は起らず、あっさり敗けたそうである。やり方が悪かったのか、それとも係の人が直してしまったのかは、その後行っていないので分からない。もし、あれがパチンコのように金や景品に換えられるのだったら、いくらあの発見をしていたにしても、うしろめたい気持がして、ゲームを続けられなかったと思う。単なる遊びだから、それほど悪いことをしているという気にもならず、しばし楽しい経験をさせてもらうことになったのである。

この手のスロットマシンがあるゲームコーナーには、たいていルーレットがある。これも金や景品には関係ないが、本場のルーレットの興奮をいくらかは味わうことができる。

マスターは断然強い

常識的に考えれば、あの小さな玉がどの数字の穴に入るかは、まったく偶然のように思える。しかし、あれにも何か法則のようなものがあり、しかも、ルーレットを回す人の腕に大きく左右されるのではないか、という気がする。特に後者についていえば、私の行きつけの店でのことだが、回す人が店の若い人からマスターにかわると、とたんに皆が負けだし、ついには全部とられてしまうのである。

このルーレットにも忘れられない経験がある。ある晩、〝凄い奴〟が現われて、ルーレットのチップを全部かっさらい、〝バネ切り〟にしてしまったのである。店の方は仕方なくチップを出すかわりに、借り分をノートにつけはじめるという始末であった。その〝凄い奴〟はそもそも、私たちがふつう千円でチップを買い求めるところを、一万円単位で求め、しかもチップ五〇枚分を一枚にした特別のチップで勝負するのである。ともかく、奴は金額に換算すれば百万円近く勝ったにちがいない。その日は、勝った分を店へ〝返却〟して終った。

〝凄い奴〟との一戦

あくる日、私は〝ひょっとすれば〟と思いながら行ってみると、期待通り奴は来ていた。マスターと白熱の真剣勝負の最中であった。

ルーレットに勝つには、回し手が客の裏をかけないように、できるだけまんべんなく張るに限るそうである。一ケ所か二ケ所にヤマを張る賭け方は必ず敗ける――これは以前の店の人が教えてくれたことだ。

〝凄い奴〟は、その鉄則通り、要所要所を押えるように張っていた。そうしておいてときどき、思い切った大きな勝負に出る。マスターは、持前の笑顔をくずさず、しかし額にわずかに汗をにじませてルーレットを回し、玉をころがす。一進一退が続く。

やがて、チップが少しづつ減りはじめた。さすがの〝凄い奴〟も緊張の持続に耐えかねたのだろうか。張り方が雑になり、裏目裏目と出るようになった。

閉店近くなったころ、勝利はマスターのものとなった。見物人からフーとため息がもれた。奴は立ち上り、一言「面白かった」と言い残して去っていった。私はといえば、ゲームコーナーに入りながら、結局一銭も使わないで、そのままふらふらと家へ帰ったのである。

(やぎたかまさ・団体役員)

お知らせ

米国シカゴのイリノイ州にあるバリー・マニファクチュアリング・コーポレーションとジェイ・ルックリン・アミューズメント(ホンコン)リミテッドは、日本の東京都港区東麻布1丁目26番1号芦屋ビル2階に所在するバリー・ジャパン・コーポレーションとジェイ・ルックリン・アミューズメント(ホンコン)リミテッドの事務所の立場を明確にしたく存じます。

バリー・ジャパン・コーポレーションとジェイ・ルックリン・アミューズメント(ホンコン)リミテッド日本支社は、日本における唯一のバリー社の娯楽機器及び保修部品の輸入元であり、総販売代理店です。

バリー社の娯楽機械や部品を直接購入可能という、ある代理店の広告により、みなさま方に真偽を疑わせることがありましたが、これは真実ではなく、バリー製品を直接工場から輸入販売するには、バリー・ジャパン・コーポレーションまたはジェイ・ルックリン・アミューズメント(ホンコン)リミテッド日本支社の承諾と承認が必要です。

この掲載記事は、米国シカゴのバリー・マニファクチュアリング・コーポレーション社長のW・T・オダメル氏と、バリー・ジャパン・コーポレーションの社長でありかつバリー・ASIA社の副社長であるJ・ルックリン氏の指示によります。

この件に関するいかなる質問も、バリー・ジャパン・コーポレーションのマーケティングデレクター兼ジェイ・ルックリン・アミューズメント日本支社のJ・ベンソンに直接お問合せください。

ゲームマシンをつかったとばく犯

過熱、全国化の様相

警察庁の調べによると、ゲーム場の数は都道府県別にみて、大阪府が全国の約三十九パーセントを占め、最も多く、兵庫県の八パーセントがそれにつづいている。全国においてその過半数を近畿地が占める、という結果である。

しかし、ゲームマシンブームは一方で、過熱化現象とも言うべき状況に突入しており、それはとばく犯の形で全国化してきているのが現状である。

ゲームは純粋に楽しむだけのものであって、決しておカネを賭けるギャンブルにしてはならないことは、当然のことである。とばくは犯罪であり、犯罪に関与する者はかならず罰せられ押収される運命にある。

今後とも、ゲームマシンを使ったとばく罪をなくするよう。業者ならびに国民に、われわれは訴える次第である。そういう意味で、今回、近畿地方以外での、次のとばく犯は注目せざるを得ない。

東京で大がかりな ルーレットとばく検挙

【東京】高級歓楽街、港区赤坂にあるビルの一室で、ルーレットを使って、現金とばくをしていた連中が、十六日未明、警視庁保安一課の手入れを受け、従業員八人、客六人の計十四人がとばく現行犯で逮捕された。

つかまったのは、千葉市春日町一丁目、自称ルーレット教室社長高橋晃治(22)ら。場所は、港区赤坂三—六—一八、ニューロイヤルビル四階「ユニオン・ルーレット教室」。

この「ルーレット教室」は、さる七月一日から、高橋が社長になり、毎夜午後十時から午前五時までの深夜営業で、ルーレットとばくを行なっていた。受付で現金とチップを交換して、客が帰るとき、勝ち分の一割をテラ銭として取られる仕組。毎夜数百万円から一千万円以上のかけ金が乱れとんでいたとのこと。

同日午前一時、私服警察官が部屋に踏み込み、「そのまま手を動かすな」と叫ぶと、見物していた客二十数人を含め、全員まっ青になったという。

なお警視庁保安一課は、高橋の背後で「ルーレット教室」を経営していた前科三犯の小西一郎ら三人を全国に指名手配した。さらに追及するとの方針であるが、このような大がかりなとばく事件が摘発されたのは、さる二十九年以来のこと、と言われている。

福岡県警 リース業者ら逮捕

【福岡】喫茶店などでゲームマシンをつかってとばくをさせていた九州の業者など二十七人が、十一日までに福岡南署によって検挙された。

福岡南署は福岡市内の喫茶店、スナックなどでゲームマシンを設置、メダルを現金に交換してとばくが行なわれていることをつきとめ、検挙に踏み切ったもの。検挙されたのはスナック経営者、ゲームマシンのリース業者、スナックの客など。

なお同署はそのゲームマシンの購入先である熊本市大江町渡麓、正産業＝小林正社長(34)＝の事務所をとばくほう助の疑いで家宅捜索した。

ゲーム場オープンのニュースを、本紙までお知らせ下さい。

愛知県警 広域グループ捕える

【名古屋】愛知県から東海一帯にかけて、喫茶店などでゲームマシンをつかってとばくをさせていたリース業者のグループを調べていた、愛知県警保安一課の取締本部は、十九日までに、主犯格を含む三人を新たに逮捕した。このグループは、年間約四千三百万円の利益を上げており、今後の調べで一億円に達するのではないか、と言われてい

今回逮捕されたのは、主犯格の名古屋市千種区猪高町一社、磯見武二(28)ら三人。すでに八月に逮捕ずみの荻野英機(31)らと共謀して、リース業をはじめ、昨年八月から今年七月までに愛知、三重、岐阜、静岡、東京の一都四県にわたって喫茶店、スナック、ガソリンスタンドなど四十八店に計五十九台（押収ずみ）のゲームマシンを置き、とば

第13回 自動販売機フェア

10月30日～11月2日

東京流通センター（平和島）

きたる十月三十日から十一月二日まで「第十三回自動販売機フェア」が開催される。主催は日本自動販売機工業会で、〝便利さと美しさの調和〟をテーマに、最新の自動販売機が数多く出展される。場所は、東京平和島にある東京流通センターである。

新製品紹介

スロットマシンの新機種

バリー社のスロットマシンは定評あるが、このほど「デラックス・マルチプライアー」が新発売となった。

デラックス・マルチプライアーは、四本リールで、一度に六枚までメダルを入れることができる。セブンが四つセンターラインに並ぶと、トップ・ジャックポットで、六枚メダルを入れているときには二〇〇〇枚も出てくる。セブンあるいはバーがセンターラインのどこでも三つ揃えば、ジューシイ・ジャックポット。これは十九通りのウィンをめざして楽しむ豪華スロットマシンと言えよう。

デラックス・マルチプライアー

★　★　★

英国ベルフルート社からニュータイプのスロットマシンが輸入された。長身でハンドルのない、「ラッキー・ノバ」と「スーパーウィングス」である。

ラッキー・ノバのメダルプレーは一枚ずつ。四本リールで、うち内側の二本のリールはホールドできる、ホールド・アンド・ドロー方式。

スタートはレバースイッチを押すだけであり、配当は最高五〇〇枚。

とくに面白いのはスペシャルチャレンジができることで、ウィンした場合、必らず再度チャレンジでき、それで当ると配当が三ないし一倍、あるいはゼロになる。

スーパー・ウィングスのメダルプレーは、一度に五枚まで、四本リールで、スタートはレバースイッチ。最高配当二五〇〇枚。

二〇枚以上の配当がある場合、ロータリーフラッシュが輝き、ベルが鳴り、喜びをさらに高める。

（仕様）

ラッキー・ノバ　高一五六cm幅六三cm奥行四九cm重さ一〇五kg　AC百ボルト　五〇／六〇ヘルツ　四〇ないし五〇ワット。

スーパー・ウィングス　高一一七cm幅六三cm奥行五〇cm重さ一一一kg　AC百ボルト　五〇／六〇ヘルツ　四〇ないし五〇ワット。

（発売元）

シンシンコーエンジニアリング☎〇六（三三三）〇三二五